

## (4) 認知症の症状

認知症の症状はさまざまですが、中核症状と行動・心理症状 (BPSD) の2種類に大きく分けられます。

### 中核症状

病気などにより脳の細胞が壊れ、その細胞が担っていた機能が失われたために起きる症状

#### ●記憶障がい

- ・さっき聞いたことが思い出せない
- ・覚えていたはずの記憶が失われる



#### ●実行機能障がい

- ・前もって計画を立てることができない
- ・家電や自販機などが使いこなせない

#### ●見当識障がい

- ・時間・季節・場所等が分からなくなる
- ・道順などが分からなくなる

#### ●理解・判断力の障がい

- ・考えるスピードが遅くなる
- ・いつもと違うことで混乱しやすくなる

### 主な行動・心理症状 (BPSD)

「中核症状」により生活上の困難にうまく適応できない場合に、本人の性格、環境、身体状況が加わって起きる症状

#### ●幻覚 (幻視・幻聴)

- ・実在しない音や声が聞こえる幻聴や実在しないものが見える幻視など

#### ●妄想

- ・ものを盗られたと訴えるなど、現実にはあり得ないことを真実と信じ込む

#### ●外出中に道に迷う

- ・本人なりの理由で外出したが、道が分からなくなったり、外出の目的を忘れてしまい道に迷う



#### ●不安・焦燥

- ・不安になり、日常のささいなことを心配する



#### ●うつ状態

- ・気分が沈む
- ・何に対しても興味を示さない

#### ●せん妄

- ・一時的に注意力や思考力が低下する状態
- ・幻覚、暴言・暴力がみられることがある

#### ●暴言・暴力

- ・大きな声をあげる
- ・暴力をふるう

#### ●不潔行為

- ・主に排泄に関連した行動がうまくできずに起こり、便いじりなどがある

#### ●不穏・興奮

- ・落ち着かない
- ・イライラしやすい



#### ●介護抵抗

- ・介護者に反抗的な態度を示し拒否する

